

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【公表番号】特表2011-529669(P2011-529669A)
 【公表日】平成23年12月8日(2011.12.8)
 【年通号数】公開・登録公報2011-049
 【出願番号】特願2011-521077(P2011-521077)
 【国際特許分類】

H 0 3 H 17/02 (2006.01)

H 0 3 H 17/00 (2006.01)

G 0 1 F 1/84 (2006.01)

【F I】

H 0 3 H 17/02 6 3 3 Z

H 0 3 H 17/00 6 2 1 J

H 0 3 H 17/02 6 1 1

G 0 1 F 1/84

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月9日(2012.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1つ以上のデジタルフィルタを有する処理システム内のプロセッサの動作を最適化するための方法であって、

前記1つ以上のデジタルフィルタの初期のフィルタ係数を作成することと、

前記1つ以上のデジタルフィルタのうちの少なくとも1つのデジタルフィルタの除去し得る1つ以上の初期のフィルタ係数を求めることと、

前記1つ以上の初期のフィルタ係数を除去することと、を有しており、

前記1つ以上の初期のフィルタ係数を除去することが、前記処理システムにより用いられるフィルタ係数の総数を減らす、方法。

【請求項2】

残りのフィルタ係数を前記処理システムにプログラミングする次のステップをさらに有する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記除去することが、1つ以上のあらかじめ定められたデジタルフィルタから前記1つ以上の初期のフィルタ係数を除去することをさらに有する、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記1つ以上のデジタルフィルタのうちの1つのデジタルフィルタが非対称なフィルタ係数を有する、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記1つ以上のデジタルフィルタのうちの1つのデジタルフィルタが対称なフィルタ係数を有する、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記1つ以上のデジタルフィルタのうちの1つデジタルフィルタが対称なフィルタ係数を有しており、対称なフィルタ係数が単独で又は対で除去される、請求項1に記載の方法

。

【請求項 7】

動作中、1つ以上の処理システム測定値をあらかじめ定められた電力使用量しきい値と比較することと、

前記1つ以上の処理システム測定値が前記あらかじめ定められた電力使用量しきい値を超えている場合、前記1つ以上のデジタルフィルタのうちの少なくとも1つのデジタルフィルタの除去し得る1つ以上の動作中のフィルタ係数を求めることと、

前記1つ以上の動作中のフィルタ係数を除去することと、を有しており、

前記1つ以上のフィルタ係数を除去することが、少なくとも現行のメインループ処理の繰り返し中、前記処理システムにより用いられるフィルタ係数の総数を減らす、請求項1に記載の方法。

【請求項 8】

1つ以上のデジタルフィルタを有する処理システム内のプロセッサの動作を適応的に最適化するための方法であって、

動作中、1つ以上の処理システム測定値をあらかじめ定められた電力使用量しきい値と比較することと、

前記1つ以上の処理システム測定値が前記あらかじめ定められた電力使用量しきい値を超えている場合、前記1つ以上のデジタルフィルタのうちの少なくとも1つのデジタルフィルタの除去し得る1つ以上のフィルタ係数を求めることと、

前記1つ以上のフィルタ係数を除去することと、を有しており、

前記1つ以上のフィルタ係数を除去することが、前記処理システムにより用いられるフィルタ係数の総数を減らす、方法。

【請求項 9】

前記除去することが、1つ以上のあらかじめ定められたデジタルフィルタから1つ以上のフィルタ係数を除去することをさらに有する、請求項8に記載の方法。

【請求項 10】

前記比較ステップ、前記求めるステップ及び前記処理ステップを繰り返して実行する、請求項8に記載の方法。

【請求項 11】

前記1つ以上のデジタルフィルタのうちの1つのデジタルフィルタが非対称なフィルタ係数を有する、請求項8に記載の方法。

【請求項 12】

前記1つ以上のデジタルフィルタのうちの1つのデジタルフィルタが対称なフィルタ係数を有する、請求項8に記載の方法。

【請求項 13】

前記1つ以上のデジタルフィルタのうちの1つデジタルフィルタが対称なフィルタ係数を有しており、対称なフィルタ係数が単独で又は対で除去される、請求項8に記載の方法。

。

【請求項 14】

前記1つ以上の処理システム測定値が前記あらかじめ定められた電力使用量しきい値を超えた量に基づいて、除去される動作中のフィルタ係数の数を求めることをさらに有する、請求項8に記載の方法。

【請求項 15】

準備ステップをさらに備え、

前記準備ステップは、

前記1つ以上のデジタルフィルタの初期のフィルタ係数を作成することと、

前記1つ以上のデジタルフィルタのうちの少なくとも1つのデジタルフィルタの除去し得る1つ以上の初期のフィルタ係数を求めることと、

前記1つ以上の初期のフィルタ係数を除去することと、を有しており、

前記1つ以上の初期のフィルタ係数を除去することが、前記処理システムにより用いら

れるフィルタ係数の総数を減らす、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 16】

1つ以上のデジタルフィルタを有する処理システム内のプロセッサの動作を最適化するための方法であって、

前記方法が、

前記 1つ以上のデジタルフィルタのフィルタ係数を作成することと、

前記 1つ以上のデジタルフィルタのうちの 1つ以上のデジタルフィルタの除去し得る 1つ以上の初期のフィルタ係数及び 1つ以上の動作中のフィルタ係数を求めることと、

前記 1つ以上の初期のフィルタ係数を除去することと、を有しており、

前記 1つ以上の初期のフィルタ係数を除去することが、前記処理システムにより用いられるフィルタ係数の総数を減らし、

さらに、前記方法が、

前記処理システムの中へ前記フィルタ係数をプログラミングすることと、

動作中、1つ以上の処理システム測定値をあらかじめ定められた電力使用量しきい値と比較することと、

前記 1つ以上の処理システム測定値が前記あらかじめ定められた電力使用量しきい値を超えている場合、前記 1つ以上の動作中のフィルタ係数を除去することと、を有しており、

前記 1つ以上のフィルタ係数を除去することが、前記処理システムにより用いられるフィルタ係数の総数を減らす、方法。

【請求項 17】

前記除去することが、1つ以上のあらかじめ定められたデジタルフィルタから前記 1つ以上の初期のフィルタ係数を除去することをさらに有する、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】

前記 1つ以上のデジタルフィルタのうちの 1つのデジタルフィルタが非対称なフィルタ係数を有する、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 19】

前記 1つ以上のデジタルフィルタのうちの 1つのデジタルフィルタが対称なフィルタ係数を有する、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 20】

前記 1つ以上のデジタルフィルタのうちの 1つデジタルフィルタが対称なフィルタ係数を有しており、対称なフィルタ係数が単独で又は対で除去される、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 21】

前記 1つ以上の動作中のフィルタ係数に対して前記比較ステップ及び前記除去ステップを繰り返して行なう、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 22】

前記 1つ以上の処理システム測定値が前記あらかじめ定められた電力使用量しきい値を超えた量に基づいて、除去される動作中のフィルタ係数の数を求めることをさらに有する、請求項 16 に記載の方法。